

平成19年3月期 決算短信

平成19年5月18日

上場会社名 株式会社マーベラスエンターテイメント

上場取引所 東証第2部

コード番号 7844

URL <http://www.mmv.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山 晴 喜

問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 佐野 信 行

TEL (03) 5793-9170

定時株主総会開催予定日 平成19年6月22日

有価証券報告書提出予定日 平成19年6月25日

(百万円未満切捨て)

1. 19年3月期の連結業績(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期	12,487	35.8	△1,052	—	△1,053	—	△1,525	—
18年3月期	9,196	24.0	574	△9.0	609	△22.6	529	15.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
19年3月期	△18,072 13	—	△57.9	△13.0	△8.4
18年3月期	13,176 30	12,606 29	19.6	11.0	6.6

(参考) 持分法投資損益 19年3月期 — 百万円 18年3月期 — 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期	9,466	1,915	19.6	21,975 39
18年3月期	6,776	3,410	50.3	80,905 88

(参考) 自己資本 19年3月期 1,856百万円 18年3月期 — 百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期	△657	△1,886	2,739	981
18年3月期	△309	△1,438	1,687	774

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金			配当金総額 (年間)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	中間期末	期末	年間			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
19年3月期	0 00	0 00	0 00	—	—	—
18年3月期	0 00	1,250 00	1,250 00	52	53.2	2.1
20年3月期 (予想)	—	625 00	625 00		8.1	

3. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
中間期	5,000	0.9	△700	—	△750	—	0	—	—	
通期	12,500	0.1	220	—	150	—	650	—	7,694 13	

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無
- (2) 連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法の変更（連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更に記載されるもの）

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行株式数（自己株式を含む） 19年3月期 84,480株 18年3月期 42,160株
- ② 期末自己株式数 19年3月期 一株 18年3月期 一株

（注）1株当たり当期純損失（連結）の算定の基礎となる株式数については、21ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

（参考）個別業績の概要

1. 19年3月期の個別業績（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

(1) 個別経営成績

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期	6,763	23.6	△1,239	—	△1,228	—	△1,643	—
18年3月期	5,470	26.3	166	△51.3	183	△41.8	94	△35.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期	△19,469 25	—
18年3月期	2,351 24	2,249 52

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
19年3月期	6,724	808	12.0	9,576	07
18年3月期	5,331	2,493	46.8	59,141	29

（参考）自己資本 19年3月期 808百万円 18年3月期 ー 百万円

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の提出日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって上記予想数値と異なる可能性があります。

提出会社は平成18年3月31日最終の株主に対し、平成18年4月1日付をもって、株式1株につき2株の分割を実施しております。

なお、吸収合併（4月1日付にて株式会社マーベラス音楽出版、6月30日付にて株式会社マーベラスインタラクティブ）により業績に与える影響に関しましては、現在、精査中であります。

完了後、ご報告いたします。

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

①当期の経営成績

当期におけるわが国経済は、消費の伸び悩みや米国経済の減速による影響がみられたものの、製造業を中心とした輸出の増加、企業収益の改善を背景とした設備投資の順調な推移、雇用環境や所得環境の改善により、穏やかな景気拡大が続きました。

当社グループを取り巻く環境におきましては、国内音楽配信が音楽の新たな消費形態として市場を拡大させつつありますが、国内音楽ソフト全体の生産状況は依然として縮小傾向にあり、また、映像ソフト市場においては、販売用DVDの売上が大きく減少した事により2年連続の前年割れとなりました。国内ゲーム市場におきましては、「Wii」（任天堂）や「プレイステーション3」（ソニー・コンピュータエンタテインメント）などの次世代機の発売とともに、昨年同様「ニンテンドーDS（Lite）」（任天堂）がハードウェア市場拡大に大きく貢献し、ソフト市場も活況を呈しました。アミューズメント業界におきましては、小規模店舗閉鎖と大規模店舗の新設という状況が依然として継続しております。

このような状況下、音楽映像事業においてはマスターライセンス作品の拡充に積極的に取り組み、デジタルコンテンツ事業においてはニンテンドーDSをはじめとする携帯型ゲーム機へ積極的なソフトの投入を行いました。また、アミューズメント事業においては大型新規店舗3店舗を開設したこと等により、各事業分野とも売上は増加いたしました。しかしながら、利益におきましては、今後のDVD市場環境の悪化を勘案した映像コンテンツの償却の大幅な前倒し、一部据置型ゲーム機向けソフトの販売不振、アミューズメント新規出店に伴う開業経費負担の増加により損失を計上いたしました。また、アミューズメント事業の再編に伴う特別損失が発生いたしました。なお、同事業に関しましては、次期において、会社分割等により事業譲渡を行う予定であります。

この結果、当期の営業成績は連結売上高12,487百万円（前期比35.8%増）、連結営業損失1,052百万円（前期連結営業利益574百万円）、連結経常損失1,053百万円（前期連結経常利益609百万円）、連結当期純損失1,525百万円（前期連結当期純利益529百万円）となりました。

また、単体におきましては、売上高6,763百万円（前期比23.6%増）、営業損失1,239百万円（前期営業利益166百万円）、経常損失1,228百万円（前期経常利益183百万円）、当期純損失1,643百万円（前期当期純利益94百万円）となりました。

(イ) 音楽映像事業

音 楽

平成18年における国内音楽ソフト（オーディオ/音楽ビデオ合計）の総売上高は、前年比3%減の4,084億円と若干の減少、生産数も前年比1.5%減の3億4,700枚（巻）、平成10年に6,075億円と過去最高額を記録して以来8年連続の前年割れとなりました。しかしながら有料音楽配信が昨年に引続き前年比56%増の535億円と驚異的な伸びを示し、音楽市場全体は2年連続前年を上回りました。（社団法人 日本レコード協会調べ）

このような状況下、当事業におきましては、専属アーティスト加藤和樹の楽曲や「ふたりはプリキュア Splash☆Star」の主題歌等を中心に商品を編成いたしました。また、デルファイサウンドに新レーベルを設立しアーティスト作品を中心にラインナップいたしました。

映 像

平成18年の映像ソフト市場は前年比89.2%の3,308億円と2年連続の前年割れとなりました。主な要因は、レンタル用DVDの売上金額が拡大する一方で、販売用DVDの売上金額が大きく減少したことにあります。（社団法人 日本映像ソフト協会調べ）

このような状況下、当事業におきましては、マスターライセンス取得作品「ストロベリーパニック」、「スクールランブル2学期」、「僕等がいた」、「エア・ギア」、「ゴーストハント」、「はびねす!」、「Alaska星のような物語」、「リングにかけろ 日米決戦編」等のテレビ放送および映像商品化を行うとともに、前期より引き続き、「蟲師（むしし）」、「マイネリーベ2」、「c a p e t a」等の映像商品化や、「テニスの王子様 ミュージカルDVD」各種を発売いたしました。また、劇場公開した「映画ふたりはプリキュア Splash☆Star チクタク危機一髪!」、実写映画「テニスの王子様」の映像作品を編成いたしました。しかしながら現在のDVD市場環境の悪化と今後の市場の不透明感を勘案し、映像コンテンツの償却の前倒しをいたしました。

この結果、当期における音楽映像事業の営業成績は、連結売上高4,591百万円（前期比23.2%増）、連結営業損失893百万円（前期連結営業利益407百万円）となりました。

また、単体におきましては、売上高3,978百万円（前期比11.3%増）、営業損失801百万円（前期営業利益447百万円）となりました。

(ロ) デジタルコンテンツ事業

平成18年のハードウェアの国内市場規模は携帯型・据置型ともに大きく拡大し、前年度比84.5%増の3,018億円でした。平成17年におきましては2大携帯ゲーム機の「ニンテンドーDS (Lite)」と「プレイステーション・ポータブル」(ソニー・コンピュータエンタテインメント)が市場を牽引しましたが、平成18年度におきましては、幅広い年齢層や女性の取り込みに成功した「ニンテンドーDS (Lite)」が9,307千台(前年度比97.6%増)を販売し、市場の拡大に貢献しました。縮小傾向にあった据置型ハードウェアの国内市場規模は、平成17年12月の「Xbox360」(マイクロソフト)の発売に始まり、平成18年11月に「プレイステーション3」、平成18年12月に「Wii」と、次世代機の発売により大きな拡大しております。(株式会社エンターブレイン調べ)

このような状況下、当事業におきましては、定番タイトルである「牧場物語」シリーズにおいて、DSプラットフォームの新作タイトル「牧場物語キミと育つ島」が30万本に迫る好調なセールスを記録し、また新たにシリーズ化が期待できる「ルーンファクトリー-新牧場物語-」、「VALHALLA KNIGHTS-ヴァルハラナイト-」、「ルミナスアーク」を発売いたしました。さらに、英国子会社RSGの本格稼動もあり大幅な売上げの増加となりました。しかしながら、一部据置型ゲーム機向けソフトの販売不振、プラットフォーム戦略の見直しに伴う開発費の増加により、大きく利益を圧迫いたしました。

この結果、当期におけるデジタルコンテンツ事業の営業成績は、連結売上高5,081百万円(前期比56.1%増)、連結営業利益239百万円(前期比28.6%減)となりました。

(ハ) アミューズメント事業

アミューズメント事業におきましては、新規大型店3店舗の開設により売上が増加したものの、「THE 3RD PLANET佐野店」「THE 3RD PLANET須賀川店」の閉店や、一部店舗の低迷、開業費負担の増加により損失を計上いたしました。

この結果、当期におけるアミューズメント事業の営業成績は、連結・単体ともに売上高2,315百万円(前期比24.1%増)、営業損失80百万円(前期営業利益187百万円)となりました。

(ニ) その他の事業

その他の事業におきましては、「テニスの王子様」、「エア・ギア」のミュージカルやライブコンサートを柱に、「いとしの唄」などの舞台公演を開催し観客動員数も堅調に推移いたしました。

この結果、当期におけるその他事業の営業成績は、連結売上高498百万円(前期比44.0%増)、連結営業利益115百万円(前期比29.6%増)となりました。

また、単体におきましては、売上高469百万円(前期売上高 ー)、営業利益101百万円(前期営業利益 ー)となりました。

②次期の見通し

音楽映像事業におきましては、今後も映像市場の低迷が予測されることから、マスターライセンス取得にかかる制作費の償却期間を短縮する一方、音楽、舞台公演各事業の拡充に努めてまいります。また、引き続き音楽映像配信への作品供給を更に進めてまいります。デジタルコンテンツ事業におきましては、好調な携帯型ゲーム機向けソフトに注力するとともに、据置型ゲーム機向けソフトの世界市場を視野に入れた作品投入を行ってまいります。更に、オンラインゲーム市場への新たな取り組みとして、保有するコンテンツ資産を積極活用した展開を図ります。大きなビジネスチャンスが期待される海外市場におきましては、北米での事業展開の基礎作りを進めてまいります。

次期の業績については、これらの取り組みのもと、連結売上高12,500百万円、連結営業利益220百万円、連結経常利益150百万円、連結当期純利益650百万円を見込んでおります。

なお、連結業績予想に関しまして、アミューズメント事業の業績に与える影響は上期中に行われる事業譲渡日までの売上高が計上される予定であります。現時点では売上高は400百万円見込んであります。また、合併差益に関しては連結業績にあたる影響はありませんが、平成19年4月1日付の株式会社マーベラス音楽出版と平成19年6月30日付(予定)の株式会社マーベラスインタラクティブとの吸収合併の個別業績に与える影響を現在精査中であります。

(2) 財務状態に関する分析

①資産、負債及び資本の状況

(イ) 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて33.0%増加し、6,722百万円となりました。これは主として当連結会計年度より制作に着手したゲームソフトからコンテンツと認識し、コンテンツとしての会計処理を適用したため、たな卸資産が1,300百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて59.3%増加し、2,744百万円となりました。これは主として有形固定資産で

はアミューズメント事業において3店舗出店したことなどにより505百万円、無形固定資産では連結子会社化するための2社の全株式の取得によりれん代282百万円、投資その他の資産ではアミューズメント事業出店に係る建設協力金として長期貸付金304百万円が増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて39.7%増加し、9,466百万円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて115.0%増加し、7,117百万円となりました。これは主として短期借入金が増加したためであります。

固定負債は、前連結会計年度末の24百万円に対し433百万円となりました。これは長期借入金を行ったためであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて126.5%増加し、7,550百万円となりました。

(ハ) 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて44.4%減少し、1,915百万円となりました。これは1,525百万円の当期純損失を計上したためであります。

平成18年4月1日付の株式分割（1:2）の実施がありましたが、発行済株式数が42,320株増加したこともあり、1株当たり純資産は、前連結会計年度末に比べて、58,930円49銭減少し、21,975円39銭となりました。また、自己資本比率は、前連結会計年度末の50.3%から19.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の状況は、前連結会計年度末に比べ207百万円（26.8%）増加し、当連結会計年度末には981百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は、657百万円（前連結会計年度比112.4%増）となりました。

収入の主な内訳は、映像コンテンツ償却1,285百万円、映像コンテンツ評価損1,057百万円及び減価償却費908百万円であり、支出の主な内訳は、税金等調整前当期純損失1,324百万円、たな卸資産の増加額3,679百万円及び売上債権の増加681百万円であります。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は1,886百万円（前連結会計年度比31.1%増）となりました。

これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は、2,739百万円（前連結会計年度比62.3%増）となりました。

これは、2,779百万円の短期及び長期借入金（純額）によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成16年3月 期	平成17年3月 期	平成18年3月 期	平成19年3月 期
自己資本比率 (%)	53.2	46.5	50.3	19.6
時価ベースでの株主資本比率 (%)	131.9	167.6	105.1	40.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	153.0	269.4	—	—

(注) 自己資本比率 : 自己資本/総資産

時価ベースでの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー/利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※ 株式時価総額は、期末時価総額×期末発行済株式総数により算出しております。

※ キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

※ 平成18年3月期及び平成19年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率とインタレスト・カバレッジ・レシオにつきましては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。また、平成16年3月期と平成17年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率につきましては、有利子負債残高が無いため記載しておりません。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主様への利益還元について重要な課題と認識しており、将来の事業拡大と財務体質の強化のため、必要な内部留保を確保しつつ、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。

しかしながら、業績の悪化に伴い、誠に遺憾ながら当期の配当につきましては無配とさせていただきます。

次期の配当は、現時点で予想している業績となった場合、1株あたり年間配当625円となる予定です。

なお、内部留保資金の用途につきましては、今後の事業展開に向けた戦略財源として有効投資してまいりたいと考えております。

(4) 経営方針

平成19年3月期の経営方針については、平成18年11月10日発表の平成19年3月期中間決算短信から重要な変更がありませんので記載を省略しております。なお、弊社ホームページ (URL <http://www.mmv.co.jp>) に掲載の平成19年3月期中間決算短信をご参照ください。

2. 連結財務諸表等

(1) 連結貸借対照表

区分	注記 番号	前連結会計年度 (平成18年3月31日)		当連結会計年度 (平成19年3月31日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)					
I 流動資産					
1 現金及び預金		774,486		981,735	
2 受取手形及び売掛金		1,865,426		—	
3 売掛金		—		2,555,511	
4 たな卸資産		759,107		2,059,323	
5 前渡金		1,316,096		678,128	
6 繰延税金資産		54,363		—	
7 未収入金		242,971		350,167	
8 その他		60,090		114,424	
貸倒引当金		△18,013		△16,820	
流動資産合計		5,054,529	74.6	6,722,471	71.0
II 固定資産					
1 有形固定資産					
(1) 建物		431,095		639,686	
減価償却累計額		164,121	266,973	195,359	444,326
(2) アミューズメント 施設機器		1,690,487		2,392,026	
減価償却累計額		974,589	715,898	1,370,710	1,021,315
(3) 車両運搬具		18,852		22,781	
減価償却累計額		7,999	10,852	7,145	15,636
(4) 工具器具備品		190,399		264,234	
減価償却累計額		94,230	96,169	149,957	114,276
有形固定資産合計		1,089,894	16.1	1,595,555	16.9
2 無形固定資産					
(1) 商標権		205		175	
(2) ソフトウェア		62,084		109,023	
(3) ソフトウェア仮勘定		87,150		—	
(4) 電話加入権		2,188		3,053	
(5) のれん		—		282,601	
無形固定資産合計		151,627	2.2	394,852	4.2
3 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券		13,908		3,370	
(2) 出資金		54,225		54,225	
(3) 長期未収入金		1,050		—	
(4) 長期前払費用		40,766		—	
(5) 長期貸付金		12,302		316,451	
(6) 破産更生債権等		501		250	
(7) 繰延税金資産		7,539		—	

区分	注記 番号	前連結会計年度 (平成18年3月31日)		当連結会計年度 (平成19年3月31日)		
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	
(8) 敷金保証金			346,382		374,446	
(9) 会員権			4,700		4,700	
(10) その他			—		524	
貸倒引当金			△509		△250	
投資その他の資産合計			480,866	7.1	753,717	8.0
固定資産合計			1,722,388	25.4	2,744,125	29.0
資産合計			6,776,918	100.0	9,466,596	100.0

区分	注記 番号	前連結会計年度 (平成18年3月31日)		当連結会計年度 (平成19年3月31日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(負債の部)					
I 流動負債					
1 買掛金		634,875		1,025,006	
2 短期借入金		800,000		3,200,408	
3 一年以内返済予定の 長期借入金		—		18,700	
4 未払金		659,803		1,448,827	
5 未払費用		28,485		27,109	
6 未払印税		594,785		850,001	
7 未払法人税等		34,856		81,702	
8 未払消費税等		4,904		6,039	
9 前受金		483,021		302,365	
10 預り金		17,461		101,863	
11 賞与引当金		48,590		48,391	
12 その他		3,263		7,141	
流動負債合計		3,310,047	48.8	7,117,558	75.2
II 固定負債					
1 長期借入金		—		424,265	
2 連結調整勘定		20,059		—	
3 預り保証金		3,946		8,842	
固定負債合計		24,006	0.4	433,107	4.6
負債合計		3,334,053	49.2	7,550,665	79.8
(少数株主持分)					
少数株主持分		31,872	0.5	—	—
(資本の部)					
I 資本金		872,442	12.9	—	—
II 資本剰余金		873,961	12.9	—	—
III 利益剰余金		1,662,305	24.5	—	—
IV 為替換算調整勘定		2,282	0.0	—	—
資本合計		3,410,991	50.3	—	—
負債、少数株主持分 及び資本合計		6,776,918	100.0	—	—

区分	注記 番号	前連結会計年度 (平成18年3月31日)		当連結会計年度 (平成19年3月31日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(純資産の部)					
I 株主資本					
1 資本金				878,539	
2 資本剰余金				880,059	
3 利益剰余金				83,667	
株主資本合計				1,842,266	19.5
II 評価・換算差額等					
1 為替換算調整勘定				14,214	
評価・為替換算差額等合計				14,214	0.1
III 少数株主持分				59,449	0.6
純資産合計				1,915,930	20.2
負債純資産合計				9,466,596	100.0

(2) 連結損益計算書

区分	注記 番号	前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)			当連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)		
		金額(千円)		百分比 (%)	金額(千円)		百分比 (%)
I 売上高			9,196,560	100.0		12,487,743	100.0
II 売上原価			5,771,261	62.8		10,506,890	84.1
売上総利益			3,425,299	37.2		1,980,852	15.9
III 販売費及び一般管理費							
1 広告宣伝費		869,646			1,451,679		
2 貸倒引当金繰入額		2,084			12,751		
3 従業員給与・賞与		278,421			438,682		
4 賞与引当金繰入額		30,618			35,699		
5 研究開発費		930,909			6,392		
6 その他		739,565	2,851,245	31.0	1,088,050	3,033,255	24.3
営業利益又は 営業損失(△)			574,054	6.2		△1,052,402	△8.4
IV 営業外収益							
1 受取利息		276			529		
2 受取配当金		—			222		
2 連結調整勘定償却額		40,783			—		
3 負ののれん償却額		—			20,059		
4 為替差益		11,081			13,332		
5 その他		2,146	54,288	0.6	11,188	45,331	0.4
V 営業外費用							
1 支払利息		3,217			39,838		
2 新株発行費		9,702			—		
3 株式分割費用		4,879			—		
4 その他		1,001	18,801	0.2	7,080	46,918	0.4
経常利益又は 経常損失(△)			609,540	6.6		△1,053,989	△8.4
VI 特別利益							
1 貸倒引当金戻入額		11,872			14,202		
2 固定資産売却益		7,849			84,747		
3 投資有価証券売却益		5,500			—		
4 製品自主回収引当金 戻入額		46,570			—		
5 会員権売却益		805	72,597	0.8	—	98,950	0.8

区分	注記 番号	前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)		百分比 (%)	当連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	
		金額(千円)			金額(千円)	
VII 特別損失						
1 固定資産売却損		34,884			23,060	
2 固定資産除却損		1,995			23,250	
3 減損損失		—			102,633	
4 フランチャイズ契約解約 違約金		—			153,743	
5 契約金、保証金解約損		—	36,880	0.4	66,858	369,547
税金等調整前当期純利益 または税金等調整前当期 純損失(△)			645,257	7.0		△1,324,586
法人税、住民税 及び事業税		118,718			111,871	
法人税等調整額		△7,764	110,954	1.2	61,903	173,774
少数株主利益			5,116	0.1		27,577
当期純利益又は 当期純損失(△)			529,186	5.7		△1,525,938
						△12.2

(3) 連結剰余金計算書

区分	注記 番号	前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	
		金額(千円)	
(資本剰余金の部)			
I 資本剰余金期首残高			403,788
II 資本剰余金増加高			
増資による新株式の発行		470,173	470,173
III 資本剰余金期末残高			873,961
(利益剰余金の部)			
I 利益剰余金期首残高			1,192,473
II 利益剰余金増加高			
当期純利益		529,186	529,186
III 利益剰余金減少高			
1 配当金		48,200	
2 役員賞与		11,155	59,355
IV 利益剰余金期末残高			1,662,305

(4) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
平成18年3月31日残高 (千円)	872,442	873,961	1,662,305	3,408,708
連結会計年度中の変動額				
新株の発行	6,097	6,097		12,195
剰余金の配当			△52,700	△52,700
当期純損失			△1,525,938	△1,525,938
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動 額(純額)				
連結会計年度中の変動額 合計(千円)	6,097	6,097	△1,578,638	△1,566,442
平成19年3月31日残高 (千円)	878,539	880,059	83,667	1,842,266

	評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成18年3月31日残高 (千円)	2,282	2,282	31,872	3,442,864
連結会計年度中の変動額				
新株の発行				12,195
剰余金の配当				△52,700
当期純損失				△1,525,938
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動 額(純額)	11,931	11,931	27,577	39,508
連結会計年度中の変動額 合計(千円)	11,931	11,931	27,577	△1,526,933
平成19年3月31日残高 (千円)	14,214	14,214	59,449	1,915,930

(5) 連結キャッシュ・フロー計算書

		前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	
区分	注記 番号	金額(千円)	金額(千円)	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1		税金等調整前当期純利益又は税金等調整前 当期純損失 (△)	645,257	△1,324,586
2		減価償却費	555,725	908,549
3		映像コンテンツ償却	767,529	1,285,016
4		連結調整勘定償却額	△35,947	—
5		のれん償却額	—	42,638
6		長期前払費用の償却額	2,233	9,283
7		賞与引当金の減少額	△6,647	△198
8		貸倒引当金の減少額	△9,642	△1,451
9		製品自主回収引当金の減少額	△135,000	—
10		受取利息	△276	△529
11		支払利息	3,217	39,838
12		為替差損 (差益△)	△3,309	504
13		新株発行費	9,702	—
14		映像コンテンツの評価損	107,319	1,057,171
15		デジタルコンテンツの評価損	—	53,308
16		固定資産売却益	△7,849	△84,747
17		固定資産売却損	34,884	23,060
18		固定資産除却損	1,995	23,250
19		減損損失	—	102,633
20		投資有価証券売却益	△5,500	—
21		会員権売却益	△805	—
22		売上債権の増加額	△523,964	△681,792
23		たな卸資産の増加額	△951,205	△3,679,899
24		仕入債務の増加額	305,986	338,734
25		未払金の増加 (減少△) 額	△141,350	693,900
26		未払印税の増加額	48,784	255,216
27		未払消費税等の増加 (減少△) 額	1,189	△4,544
28		役員賞与の支払額	△11,155	—
29		その他流動資産の減少 (増加△) 額	△1,131,083	595,074
30		その他流動負債の増加 (減少△) 額	391,269	△196,751
31		その他	—	53,592
		小計	△88,641	△492,727
32		利息の受取額	276	529
33		利息の支払額	△3,631	△44,127
34		法人税等の支払額	△217,605	△121,303
		営業活動によるキャッシュ・フロー	△309,602	△657,628
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1		連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得 による収入	378	—
2		連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得 による支出	—	△146,042
3		有形固定資産の取得による支出	△1,129,077	△1,508,004
4		有形固定資産の売却による収入	17,040	130,803
5		無形固定資産の取得による支出	△132,003	△15,909

		前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
区分	注記 番号	金額(千円)	金額(千円)
6		6,500	—
7		△43,000	△22,000
8		2,205	—
9		△54,225	—
10		—	11,907
11		△151,714	△70,648
12		41,140	53,326
13		△3,000	△352,227
14		4,017	24,930
15		△876	△4,603
16		3,700	9,500
17		—	2,952
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,438,914	△1,886,014
III	財務活動によるキャッシュ・フロー		
1		2,100,000	5,900,845
2		△1,300,000	△3,500,436
3		—	400,000
4		—	△20,769
5		930,644	12,086
6		5,000	—
7		△47,921	△52,258
	財務活動によるキャッシュ・フロー	1,687,722	2,739,465
IV	現金及び現金同等物に係る換算差額	4,873	11,426
V	現金及び現金同等物の増加(減少)額	△55,920	207,249
VI	現金及び現金同等物の期首残高	830,406	774,486
VII	現金及び現金同等物の期末残高	774,486	981,735

(6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

最近の有価証券報告書（平成18年6月26日提出）における記載から重要な変更がないため開示を省略します。

(7) 連結財務諸表に関する注記事項

（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書、連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記事項）
決算短信における開示の重要性が大きくないと考えられるため開示を省略します。

（セグメント情報）

1. 事業の種類別セグメント情報

前連結会計年度(自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)

	音楽映像 事業 (千円)	デジタル コンテンツ 事業 (千円)	アミューズ メント事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高 及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,727,765	3,256,372	1,866,232	346,189	9,196,560	—	9,196,560
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	16,745	—	—	72,268	89,013	(89,013)	—
計	3,744,510	3,256,372	1,866,232	418,458	9,285,573	(89,013)	9,196,560
営業費用	3,337,143	2,921,734	1,678,907	329,739	8,267,523	354,982	8,622,506
営業利益	407,367	334,638	187,325	88,718	1,018,050	(443,995)	574,054
II 資産、減価償却費 及び資本的支出							
資産	2,769,227	1,974,072	1,203,854	—	5,947,155	829,763	6,776,918
減価償却費	17,913	46,863	464,136	—	528,914	26,811	555,725
資本的支出	120,132	102,712	866,571	—	1,089,416	95,090	1,184,507

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品又は事業の内容

- (1) 音楽映像事業……………VHSビデオ、DVD、音楽CD、音楽原盤制作等
- (2) デジタルコンテンツ事業…………ゲームソフト、PCソフト
- (3) アミューズメント事業…………アミューズメント施設運営
- (4) その他の事業……………舞台公演等

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の主なものは、親会社本社の総務部門等管理部門にかかる費用であり、470,021千円であります。

4 資産のうち、消去又は全社の項目に含めた全社資産の主なものは、親会社での余資運用資金(現金及び預金)、繰延税金資産、本社の敷金及び管理部門に係る資産等であり、829,763千円であります。

当連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	音楽映像 事業 (千円)	デジタル コンテンツ 事業 (千円)	アミューズ メント事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高 及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,591,314	5,081,967	2,315,800	498,661	12,487,743	—	12,487,743
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	32,156	—	—	—	32,156	(32,156)	—
計	4,623,471	5,081,967	2,315,800	498,661	12,519,900	(32,156)	12,487,743
営業費用	5,517,092	4,842,900	2,396,662	383,656	13,140,312	399,833	13,540,146
営業利益又は 営業損失(△)	△893,621	239,067	△80,862	115,004	△620,412	(431,990)	△1,052,402
II 資産、減価償却費 及び資本的支出							
資産	2,320,713	4,023,032	2,045,585	201,112	8,590,444	876,152	9,466,596
減価償却費	24,900	60,038	689,300	—	774,240	31,674	805,915
減損損失	—	—	102,633	—	102,633	—	102,633
資本的支出	2,880	76,682	1,498,618	—	1,578,181	31,320	1,609,501

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品又は事業の内容

- (1) 音楽映像事業……………VHSビデオ、DVD、音楽CD、音楽原盤制作等
- (2) デジタルコンテンツ事業…………ゲームソフト、PCソフト
- (3) アミューズメント事業…………アミューズメント施設運営
- (4) その他の事業……………舞台公演

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の主なものは、親会社本社の総務部門等管理部門にかかる費用であり、458,659千円であります。

4 資産のうち、消去又は全社の項目に含めた全社資産の主なものは、親会社での余資運用資金(現金及び預金)、本社の敷金及び管理部門に係る資産等であり、876,152千円であります。

2. 所在地別セグメント情報

前連結会計年度(自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)

全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める「日本」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	日本 (千円)	イギリス (千円)	アメリカ (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高 及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	11,146,283	1,341,460	—	12,487,743	—	12,487,743
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	321,134	—	—	321,134	(321,134)	—
計	11,467,418	1,341,460	—	12,808,878	(321,134)	12,487,743
営業費用	12,148,578	1,250,921	5,274	13,404,774	135,371	13,540,146
営業利益又は 営業損失(△)	△681,159	90,538	△5,274	△595,896	△456,506	△1,052,402
II 資産	7,488,114	1,099,252	3,077	8,590,444	876,152	9,466,596

(注) 1 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の主なものは、親会社本社の総務部門等管理部門にかかる費用であり、458,659千円であります。

2 資産のうち、消去又は全社の項目に含めた全社資産の主なものは、親会社での余資運用資金(現金及び預金)、本社の敷金及び管理部門に係る資産等であり、876,152千円であります。

3. 海外売上高

前連結会計年度(自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	欧州	アジア	北米	計
I 海外売上高 (千円)	1,341,460	301,174	241,712	1,884,347
II 連結売上高 (千円)	—	—	—	12,487,743
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	10.7	2.4	1.9	15.1

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州……………イギリス、ドイツ

(2) アジア……………韓国、台湾

(3) 北米……………アメリカ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(リース取引)

決算短信における開示の重要性が大きくないと考えられるため開示を省略します。

(関連当事者との取引)

決算短信における開示の重要性が大きくないと考えられるため開示を省略します。

(税効果会計)

決算短信における開示の重要性が大きくないと考えられるため開示を省略します。

(有価証券)

決算短信における開示の重要性が大きくないと考えられるため開示を省略します。

(デリバティブ取引)

決算短信における開示の重要性が大きくないと考えられるため開示を省略します。

(ストック・オプション等)

決算短信における開示の重要性が大きくないと考えられるため開示を省略します。

(企業結合等)

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

項目	前連結会計年度 （自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日）	当連結会計年度 （自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日）
1株当たり純資産額	80,905円88銭	21,975円39銭
1株当たり当期純利益又は1株当たり 純損失（△）	13,176円30銭	△18,072円13銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	12,606円29銭	なお、潜在株式調整後1株当たり当期 純利益については、1株当たり当期純 損失であるため記載しておりません。
	当社は平成17年7月20日付で株式1 株につき2株の株式分割を行っており ます。当該株式分割が前期首に行われ たと仮定した場合の前連結会計年度の 1株当たり情報については、それぞれ 以下のとおりであります。	当社は平成18年4月1日付で株式1 株につき2株の株式分割を行っており ます。当該株式分割が前期首に行われ たと仮定した場合の前連結会計年度の 1株当たり情報については、それぞれ 以下のとおりであります。
	1株当たり純資産額	1株当たり純資産額
	51,558円43銭	40,452円94銭
	1株当たり当期純利益	1株当たり当期純利益
	11,585円26銭	6,588円15銭
	潜在株式調整後	潜在株式調整後
	1株当たり当期純利益	1株当たり当期純利益
	11,475円98銭	6,303円14銭

（注）1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎

項目	前連結会計年度 （自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日）	当連結会計年度 （自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日）
連結損益計算書上の当期純利益又は当期純損失（△） （千円）	529,186	△1,525,938
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失（△）（千円）	529,186	△1,525,938
普通株主に帰属しない金額（千円） 利益処分による役員賞与金	—	—
普通株式の期中平均株式数（株）	40,162	84,436
潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に用いら れた普通株式増加数の主要な内訳（株） 新株予約権	1,816	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	第2回～第4回新株予約権 （新株予約権の数 5,260株）

（重要な後発事象）

前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)																		
<p>(株式の分割) 平成18年2月10日開催の当社取締役会の決議に基づき、次のように株式分割による新株式を発行いたします。</p> <p>1 平成18年4月1日付をもって普通株式1株につき2株に分割します。</p> <p>(1) 分割により増加する株式数 普通株式 42,160株(平成18年3月31日現在)</p> <p>(2) 分割方法 平成18年3月31日最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載された株主の所有株式数を1株につき2株の割合をもって分割します。</p> <p>2 配当起算日 平成18年4月1日 当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の前連結会計年度における1株当たり情報及び当期首に行われたと仮定した場合の当連結会計年度における1株当たり情報は、それぞれ以下のとおりであります。</p>																			
前連結会計年度	当連結会計年度																		
1株当たり純資産額 25,779円22銭	1株当たり純資産額 40,452円94銭																		
1株当たり当期純利益 5,792円63銭	1株当たり当期純利益 6,588円15銭																		
潜在株式調整後1株当たり当期純利益 5,737円99銭	潜在株式調整後1株当たり当期純利益 6,303円14銭																		
<p>(連結子会社との合併) 平成19年4月1日を効力発生日として、当社の連結子会社である株式会社マーベラス音楽出版を吸収合併いたしました。</p> <p>1 当該吸収合併の目的 当社と連結子会社である株式会社マーベラス音楽出版が経営統合することで、スピーディーな顧客サービスの実現及び業務の効率的な運用を図るため、合併するものであります。</p> <p>2 当該吸収合併の相手会社の概要</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>商号</td> <td>株式会社マーベラス音楽出版</td> </tr> <tr> <td>本店の所在地</td> <td>東京都渋谷区恵比寿4-20-3</td> </tr> <tr> <td>代表者の氏名</td> <td>代表取締役社長 牧野 幸文</td> </tr> <tr> <td>資本金</td> <td>10百万円</td> </tr> <tr> <td>純資産の額</td> <td>98百万円</td> </tr> <tr> <td>総資産の額</td> <td>129百万円</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>157百万円</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>42百万円</td> </tr> <tr> <td>事業の内容</td> <td>音楽著作権管理</td> </tr> </table> <p>3 当該吸収合併の方法 当社を存続会社とする吸収合併方式（会社法第796条第3項に定める簡易合併ならびに会社法第784条第1項に定める略式合併）とし、株式会社マーベラス音楽出版は解散いたします。 また、当社は株式会社マーベラス音楽出版の全株式を所有しており、合併による新株式の発行及び合併交付金の支払は行いません。</p>		商号	株式会社マーベラス音楽出版	本店の所在地	東京都渋谷区恵比寿4-20-3	代表者の氏名	代表取締役社長 牧野 幸文	資本金	10百万円	純資産の額	98百万円	総資産の額	129百万円	売上高	157百万円	当期純利益	42百万円	事業の内容	音楽著作権管理
商号	株式会社マーベラス音楽出版																		
本店の所在地	東京都渋谷区恵比寿4-20-3																		
代表者の氏名	代表取締役社長 牧野 幸文																		
資本金	10百万円																		
純資産の額	98百万円																		
総資産の額	129百万円																		
売上高	157百万円																		
当期純利益	42百万円																		
事業の内容	音楽著作権管理																		

3. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

区分	注記 番号	前事業年度 (平成18年3月31日)		当事業年度 (平成19年3月31日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)					
I 流動資産					
1	現金及び預金	454,571		494,488	
2	受取手形	23,100		—	
3	売掛金	915,175		1,001,468	
4	映像コンテンツ	695,654		189,533	
5	原材料	19,847		19,869	
6	仕掛品	23,022		17,125	
7	貯蔵品	4,690		8,415	
8	前渡金	768,435		405,742	
9	前払費用	35,949		55,493	
10	繰延税金資産	52,705		—	
11	短期貸付金	654,823		1,527,311	
12	未収入金	49,068		223,531	
13	未収消費税等	9,482		—	
14	その他	3,810		11,546	
	貸倒引当金	△12,168		△12,841	
	流動資産合計	3,698,167	69.4	3,941,684	58.6
II 固定資産					
1 有形固定資産					
(1)	建物	347,108		552,989	
	減価償却累計額	152,261	194,847	169,194	383,795
(2)	アミューズメント 施設機器	1,690,487		2,392,026	
	減価償却累計額	974,589	715,898	1,370,710	1,021,315
(3)	車両運搬具	18,852		20,196	
	減価償却累計額	7,999	10,852	6,007	14,188
(4)	工具器具備品	41,955		44,642	
	減価償却累計額	30,909	11,045	34,269	10,372
	有形固定資産合計	932,643	17.5	1,429,672	21.3

	前事業年度 (平成18年3月31日)	当事業年度 (平成19年3月31日)
--	-----------------------	-----------------------

区分	注記 番号	金額(千円)		構成比 (%)	金額(千円)		構成比 (%)
2 無形固定資産							
(1) 商標権			205			175	
(2) ソフトウェア			25,044			81,326	
(3) ソフトウェア仮勘定			87,150			—	
(4) 電話加入権			964			1,110	
無形固定資産合計			113,364	2.1		82,611	1.2
3 投資その他の資産							
(1) 投資有価証券			2,000			2,000	
(2) 関係会社株式			189,645			491,645	
(3) 長期貸付金			12,302			526,301	
(4) 長期前払費用			40,766			—	
(5) 繰延税金資産			7,539			—	
(6) 敷金保証金			330,592			330,940	
(7) 会員権			4,700			4,700	
(8) 貸倒引当金			—			△85,000	
投資その他の資産合計			587,546	11.0		1,270,587	18.9
固定資産合計			1,633,554	30.6		2,782,871	41.4
資産合計			5,331,722	100.0		6,724,555	100.0

区分	注記 番号	前事業年度 (平成18年3月31日)		当事業年度 (平成19年3月31日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(負債の部)					
I 流動負債					
1 買掛金		557,049		330,243	
2 短期借入金		800,000		3,200,000	
3 未払金		461,575		949,312	
4 未払費用		23,992		24,808	
5 未払印税		590,866		816,436	
6 未払法人税等		11,015		3,035	
7 前受金		359,973		137,103	
8 預り金		4,193		14,774	
9 賞与引当金		25,711		28,724	
10 その他		—		2,287	
流動負債合計		2,834,378	53.1	5,506,726	81.9
II 固定負債					
1 長期借入金		—		400,000	
預り保証金		3,946		8,842	
固定負債合計		3,946	0.1	408,842	6.1
負債合計		2,838,325	53.2	5,915,569	88.0
(資本の部)					
I 資本金		872,442	16.4	—	—
II 資本剰余金					
資本準備金		873,961		—	
資本剰余金合計		873,961	16.4	—	—
III 利益剰余金					
当期未処分利益		746,993		—	
利益剰余金合計		746,993	14.0	—	—
資本合計		2,493,396	46.8	—	—
負債資本合計		5,331,722	100.0	—	—
(純資産の部)					
I 株主資本					
1 資本金				878,539	13.0
2 資本剰余金					
(1) 資本準備金				880,059	
資本剰余金合計				880,059	13.1
3 利益剰余金					
(1) その他利益剰余金					
繰越利益剰余金				△949,612	
利益剰余金合計				△949,612	△14.1
株主資本合計				808,986	12.0
純資産合計				808,986	12.0
負債純資産合計				6,724,555	100.0

(2) 損益計算書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)			当事業年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)		
		金額(千円)		百分比 (%)	金額(千円)		百分比 (%)
I 売上高							
1 製品売上高		2,785,720			3,179,022		
2 アミューズメント 施設収入		1,865,561			2,312,130		
3 その他収入		818,997	5,470,279	100.0	1,272,803	6,763,956	100.0
II 売上原価							
1 製品売上原価							
(1) 製品期首たな卸高		37			—		
(2) 当期製品製造原価		687,984			893,474		
合計		688,021			893,474		
(3) 製品期末たな卸高		—	688,021		—	893,474	
2 印税			741,844			683,859	
3 アミューズメント 施設収入原価			1,678,907			2,396,662	
4 映像コンテンツ償却			769,225			1,270,526	
5 映像コンテンツ評価損			107,319			1,064,835	
6 その他売上原価			126,937			414,035	
売上原価合計			4,112,256	75.2		6,723,394	99.4
売上総利益			1,358,023	24.8		40,561	0.6
III 販売費及び一般管理費							
1 広告宣伝費		611,676			683,436		
2 荷造発送費		1,889			2,594		
3 貸倒引当金繰入額		—			12,421		
4 役員報酬		99,663			108,261		
5 従業員給与・賞与		168,933			178,394		
6 賞与引当金繰入額		17,268			19,003		
7 その他人件費		25,947			33,017		
8 賃借料		66,194			47,979		
9 減価償却費		26,811			31,674		
10 その他		173,301	1,191,685	21.8	163,380	1,280,164	18.9
営業利益又は 営業損失(△)			166,337	3.0		△1,239,602	△18.3

区分	注記 番号	前事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)		当事業年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	
		金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)
IV 営業外収益					
1 受取利息		5,571		21,608	
2 受取配当金		—		60,220	
3 賃貸料収入		1,063		13,977	
4 受取手数料		21,585		20,549	
5 為替差益		5,099		—	
6 法人税等還付金利息		—		—	
7 その他		2,018	35,338	14,097	130,453
			0.6		1.9
V 営業外費用					
1 支払利息		2,975		29,533	
2 貸倒引当金戻入額		—		85,000	
3 新株発行費		9,702		—	
4 株式分割費用		4,879		—	
5 その他		403	17,962	4,394	118,928
			0.3		1.8
経常利益又は 経常損失 (△)			183,714		△1,228,077
			3.3		△18.2
VI 特別利益					
1 貸倒引当金戻入額		3,706		11,748	
2 固定資産売却益		7,849		84,747	
3 投資有価証券売却益		5,500	17,055	—	96,495
			0.3		1.4
VII 特別損失					
1 固定資産売却損		34,884		23,060	
2 固定資産除却損		293		23,250	
3 子会社株式評価損		—		44,999	
4 減損損失		—		102,633	
5 フランチャイズ契約 解約違約金		—		153,743	
6 契約金、保証金解約損		—	35,178	66,858	414,547
			0.6		6.1
税引前当期純利益又は 税引前当期純損失 (△)			165,591		△1,546,129
			3.0		△22.9
法人税、住民税 及び事業税		79,576		37,531	
法人税等調整額		△8,416	71,160	60,244	97,775
			1.3		1.4
当期純利益又は 当期純損失 (△)			94,430		△1,643,905
			1.7		△24.3
前期繰越利益			652,562		
当期未処分利益			746,993		

(3) 利益処分計算書

区分	前事業年度 (平成18年6月23日)	
	金額(千円)	
I 当期末処分利益		746,993
II 利益処分額		
1 配当金	52,700	
2 役員賞与金 (うち監査役賞与金)	—	52,700
III 次期繰越利益		694,293

(注) 日付は、株主総会承認日であります。

(4) 株主資本等変動計算書

当事業年度（自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日）

	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	
		資本準備金	その他利益剰余金		
平成18年3月31日残高(千円)	872,442	873,961	746,993	2,493,396	2,493,396
事業年度中の変動額					
新株の発行	6,097	6,097		12,195	12,195
剰余金の配当			△52,700	△52,700	△52,700
当期純損失			△1,643,905	△1,643,905	△1,643,905
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)					
事業年度中の変動額合計(千円)	6,097	6,097	△1,696,605	△1,684,410	△1,684,410
平成19年3月31日残高(千円)	878,539	880,059	△949,612	808,986	808,986

(5) 重要な会計方針並びに個別財務諸表に関する注記事項

決算短信における開示の重要性が大きくないと考えられるため開示を省略します。

4. その他

(1) 役員の変動

① 代表者の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動(平成19年6月22日付予定)

新任取締役候補

取締役 和田 康宏(現 株式会社マーベラスインタラクティブ 代表取締役社長)